

## Google フォーム質問事項

回答 2022/6/22 (水)

ご質問) 学校とうるまこどもステーションとの連携、情報共有の仕組みを充実して欲しい。  
支援ヘルパーの増員、学校の先生方の研修、先生方もすぐに相談できる専門的な職員の配置の充実、(息子が発達障がい、教師が、子へも親へも理解や配慮が足りなくてとても辛い思いをした。市立小に期待が持てず、特別支援学校へ転向希望して、今は子も親も楽しく学校に通っている。)

うるま市のこれからのインクルーシブ教育に期待をしたい。  
発達障がいの子をもつ親は、子の将来、大人になった時、社会に出るときの不安もあるので、就労支援も含めての情報発信する場所でもあってほしいと思います。

---

まず初めに、お子様への配慮が足りず、辛い思いをさせてしまい、この場をお借りしてお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

ご質問頂きました内容につきまして、下記のとおり回答致します。

**質問 1) 学校とうるまこどもステーションとの連携、情報共有の仕組みを充実して欲しい。**

回答 1) 令和4年度中に「うるまこどもステーション庁内委員会」を設置致します。その中で、支援が必要なお子様の生育状況に関係機関で情報共有を図り、庁内一体となって取り組んでいく所存です。

**質問 2) 支援ヘルパーの増員、学校の先生方の研修、先生方もすぐに相談できる専門的な職員の配置の充実について**

回答 2) 特別支援教育支援員（支援ヘルパー）の増員、先生方の研修の充実及び先生方が相談できる専門職員の配置について、庁内委員会の議題として扱い、今後の支援等に反映させていきたいと思ひます。また、配慮を要する児童についての理解や支援者支援につきましても、同様に取り組んでいきたいと思ひます。

**質問 3) 発達障がいの子をもつ親は、子の将来、大人になった時、社会に出るときの不安もあるので、就労支援も含めての情報発信する場所でもあってほしいと思ひます。**

回答 3) うるま市福祉部や経済産業部で、当質問について取り上げ、親御さんの不安を取り除けるよう取り組んでいきたいと思ひます。また、うるまこどもステーションや SNS 等を活用し広く情報発信していきたいと思ひます。

最後に、今回多数のご質問を頂き誠にありがとうございました。うるま市のインクルーシブ教育の期待に応えられるよう取り組んでいきたいと思ひますので、今後とも宜しくお願ひ致します。